

平成 24 年 5 月 28 日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長 浦 勇 和 也
(コード 3121 大証 2 部)
問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 宮 毛 忠 相
(TEL 03-3502-4910)

子会社の異動(取得)及びホテル事業の一部事業譲渡、並びに事業譲渡による特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社ホテルシステム二十一(兵庫県加古川市)の全株式を取得し新たに当社子会社とすること、並びに当社運営の「ホテルグランディ宮崎」(宮崎県宮崎市)及び「大分アリストンホテル」(大分県大分市)に関する事業を譲り渡すことを決議し、平成 24 年 5 月 31 日付で株式譲渡契約及び事業譲渡契約を締結する予定となりましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、当該事業譲渡に伴い、特別利益を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 概要及び目的

(1) 概 要

当社グループは、本日付で、株式会社ホロニック(兵庫県神戸市、以下「ホロニック社」)グループとの間で、以下の取引を行うことを決定いたしました。

- ① 当社は、本年 7 月 1 日付で、ホロニック社完全子会社であり、「加古川プラザホテル」(兵庫県加古川市)を運営する株式会社ホテルシステム二十一(以下「HS21 社」)の全株式を取得する。
- ② 当社は、本年 7 月 1 日付で、「ホテルグランディ宮崎」及び「大分アリストンホテル」に関する事業を、ホロニック社完全子会社であるホロニックホテルズ株式会社(以下「ホロニックホテルズ社」)に事業譲渡する。

当社は現在、「ホテル JAL シティ松山」(愛媛県松山市)、「ホテルグランディ宮崎」(宮崎県宮崎市)及び「大分アリストンホテル」(大分県大分市)の 3 拠点で、ビジネスホテルを運営しており、その他、リゾートホテル「ヴィラ北軽井沢エルウィング」(群馬県吾妻郡)、「マリンテラスあしや」(福岡県遠賀郡)など指定管理の宿泊施設を運営しております。

これらのうち、当社は「ホテルグランディ宮崎」及び「大分アリストンホテル」の運営を上記②の事業譲渡により撤退し、一方で上記①の子会社取得により新たに「加古川プラザホテル」が当社グループの事業所となります。

当社は、ホロニック社グループとの間でこれら事業所の再編を行うことにより、お客様に新たな付加価値を提供し、ひいては当社グループの企業価値最大化を実現してまいりたいと考えております。

また、当社グループが営む事業のうち投資関連事業は、投資案件の成立時期が不定期で年度ごとの収益の振幅が大きい事業特性があります。このため、当社グループでは、もう一方の事業の柱であるオペレーション事業部門において安定的に採算を確保することにより、グループ全体で安定的な事業運営を図ることを重要な経営課題としてまいりました。

しかしながら、オペレーション事業部門は、東日本大震災の影響もあり、当連結会計年度にセグメント損失 174 百万円を計上しており、当社グループとしましては、個々の事業所の収支改善を図るほか、本件のような事業所の選択と集中を進めていくことにより、同事業部門の利益体質への転換を早期に実現することを目指し、今後とも取り組んでまいります。

(2) 子会社取得の目的

HS21 社は「加古川プラザホテル」の運営を行っております。子会社取得に伴い、新たに同ホテルが当社グループの事業拠点の一つとなります。

「加古川プラザホテル」は、JR 加古川駅前、加古川市商工会議所に隣接する総合型シティホテルです。周辺地域に類似の施設に限られる中、宿泊のほか、婚礼、会議、宴会などの貴重な場として多くのお客様にご利用いただいております。

同社の足下の業績は非常に堅調に推移しており、今後当社の連結業績への貢献が期待できるものであります。

今後、当社では、従来当社が培ってきた総合型ホテルの運営ノウハウを生かしていくことで、本ホテルの事業価値をさらに向上させるべく取り組んでまいります。

(3) 事業譲渡の目的

当社は「ホテルグランディ宮崎」及び「大分アリストンホテル」に関する事業をホロニック社グループのホロニックホテルズ社に譲り渡します。

「ホテルグランディ宮崎」は、宮崎県宮崎市の中心街に所在する昭和 56 年 4 月開業のビジネスホテル（客室数 209 室）であり、当社は平成 22 年 4 月に他社より事業を引き継ぐ形で運営を開始いたしました。

「大分アリストンホテル」は、JR 大分駅前に立地する都市型ビジネスホテル（客室数 228 室）であり、当社は、旧「大分ワシントンホテルプラザ」を改装し、当社独自ブランドを冠した「大分アリストンホテル」として、平成 23 年 4 月 1 日に本ホテルを開業いたしました。

両ホテルとも、当社による運営開始以来、東日本大震災や火山活動など自然災害の影響があったものの、インターネット媒体を中心とした集客施策や、徹底した経営効率化努力に取り組んできた結果、現在ではエリア随一の稼働率を誇り、一定の採算を確保するに至っております。

しかしながら、国内ホテル市況が長期低迷していることに加え、両ホテルはともに、周辺に競合ホテルが多く、宿泊料金も下落傾向となっており、当社による事業改善が一段落し、業績は頭打ちになっております。

今後、両ホテルの運営を引き継ぐホロニック社グループは、シティホテル、婚礼場運営のプロフェッショナルであり、当社とは違った特長を持ったオペレーション事業会社です。同社は、かねてよりビジネスホテルの運営事業に関心を持っており、両ホテルの事業価値をさらに向上していただけるものと考えております。

(4) ホロニック社の概要

商号	株式会社ホロニック	
所在地	兵庫県神戸市東灘区向洋町中 6 丁目 9 番地	
事業内容	ホテル運営事業及び経営、婚礼を中心としたバンケット事業、レストラン事業	
資本金	345 百万円	
設立年月日	平成 10 年 12 月	
代表者	代表取締役社長 長田 一郎	
従業員数	71 名（平成 24 年 3 月 31 日現在）	
事業年度の末日	3 月 31 日	
主要子会社	株式会社ホテルシステム二十一、ホロニックホテルズ株式会社	
主要事業所	SETRE（セトレ） SETRE highland villa （セトレハイランドヴィラ） ガーデンシティクラブ大阪	（兵庫県神戸市） （兵庫県姫路市） （大阪府大阪市）
主要株主	長田 一郎 31.3% 有限会社ミロス（ダヴィンチアドバイザーズグループ）	14.4%
当社との関係等	特筆すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。また、当社の関連当事者には該当しません。	
売上高	1,702 百万円（平成 24 年 3 月期）	
直近の財政状況 （平成 24 年 3 月期）	総資産	2,532 百万円
	純資産	387 百万円

2. 子会社取得の概要

(1) 株式の取得先

ホロニック社から HS21 社の全株式を取得いたします。

(2) 取得株式数および取得前後の所有株式の状況

取得前の所有株式数 —

取得株式数 1,000株 (取得価額の総額 468 百万円、1株あたり 468 千円)
 取得後の所有株式数 1,000株 (所有割合 100%)

(3) 取得価額の決定方法

HS21 社の財産の状況及び将来の収益見込みなどをもとに、外部専門家によるデューデリジェンス等の検討材料を踏まえ、ディスカウント・キャッシュ・フローの見積もりや取得先との協議の結果、当社として合理的な水準に決定しております。

(4) 株式取得の日程

取締役会決議日 : 平成 24 年 5 月 28 日
 株式譲渡契約の締結日 : 平成 24 年 5 月 31 日 (予定)
 譲渡代金の支払日 : 平成 24 年 6 月 29 日 (予定)
 株式譲渡日 : 平成 24 年 7 月 1 日 (予定)

(注)1. 株式譲渡契約の締結は、当社ホテル 2 店舗の事業譲渡契約の締結を条件としております。後記「3.事業譲渡の概要 (3) 譲渡取引の日程 (注) 1.」に記載の要因などにより、事業譲渡契約が締結に至らなかった場合は、株式譲渡契約の締結に至らないこととなり、この場合は、すみやかにその旨開示いたします。

2. 株式譲渡代金 468 百万円の支払いについては、平成 24 年 6 月 29 日に後記 3.の事業譲渡代金を差し引いた金額を支払うこととしております。

(5) 加古川プラザホテルの概要

名称 : 加古川プラザホテル (<http://www.kakogawa-hotel.com/>)
 事業内容 : 宿泊 (客室数 128 室)、宴会、レストラン
 所在地 : 兵庫県加古川市加古川町溝之口 527 番
 営業開始日 : 平成 14 年 4 月 1 日 (HS21 社による営業開始日)
 就労者数 : 社員 29 名及び臨時雇用者 29 名

(6) 取得する子会社の概要

名称	株式会社ホテルシステム二十一		
所在地	兵庫県加古川市加古川町溝之口 527 番 (加古川プラザホテル内)		
事業内容	ホテル経営		
資本金	50 百万円		
設立年月日	平成 12 年 11 月 9 日		
代表者	代表取締役 長田 一郎 (ホロニック社代表取締役社長)		
従業員数	29 名		
事業年度の末日	10 月 31 日		
主要事業所	加古川プラザホテル (兵庫県加古川市)		
主要株主	株式会社ホロニック 100%		
当社との関係等	特筆すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。また、当社の関連当事者には該当しません。		
直近の財政状況 (平成 23 年 10 月期)	総資産	411 百万円	
	純資産	202 百万円	
直近の業績 (平成 23 年 10 月期)	売上高	1,184 百万円	営業利益 43 百万円
	経常利益	42 百万円	当期利益 27 百万円

3. 事業所の譲渡の概要

(1) 譲渡取引の概要

① 譲渡先

ホロニックホテルズ株式会社 (株式会社ホロニックの完全子会社)

② 譲渡価額及び譲渡対象資産の帳簿価額 (注)

対象事業	譲渡価額	譲渡対象資産の帳簿価額	
「ホテルグランディ宮崎」	34 百万円	棚卸資産 2 百万円、固定資産 1 百万円	
「大分アリストンホテル」	103 百万円	棚卸資産 1 百万円、固定資産 25 百万円	
合計	137 百万円	棚卸資産 4 百万円、固定資産 26 百万円	

(注) 譲渡対象資産は譲渡日までに残高が変動する可能性が有り、譲渡日以降に内容が確定し、これに応じて譲渡価額及び譲渡対象資産の帳簿価額とも、少額ながら、変動することが見込まれるため、現時点の見積もりを元に算定しております。なお、負債は譲渡対象としておりません。

(2) 譲渡価額の決定方法

譲渡対象資産の時価及び両ホテルの将来の収益見込みなどをもとに、ディスカウント・キャッシュ・フローの見積もりや譲渡先との協議の結果、当社として合理的と判断する水準に決定しております。

(3) 譲渡取引の日程

取締役会決議日 : 平成 24 年 5 月 28 日
事業譲渡契約の締結日 : 平成 24 年 5 月 31 日 (予定)
譲渡金額の受取日 : 平成 24 年 6 月 29 日 (予定) (注)
事業譲渡日 : 平成 24 年 7 月 1 日 (予定)

(注)1. 事業譲渡契約の締結は、対象 2 ホテルの不動産所有者(貸主)の承認を前提としております。何らかの要因により当該承認が得られない場合は、事業譲渡契約の締結に至らない可能性があります。この場合は、すみやかにその旨開示いたします。

2. 譲渡金額 137 百万円は、平成 24 年 6 月 29 日に前記 2.の株式譲渡代金 468 百万円の一部に充当することにより決済することとしております。

(4) 「ホテルグランディ宮崎」の概要

名称 : ホテルグランディ宮崎 (<http://www.grandymiyazaki.jp/>)
事業内容 : ビジネスホテル(客室数 209 室)、レストラン
所在地 : 宮崎県宮崎市橘通西 3 丁目 1 番 1 号
営業開始日 : 平成 22 年 4 月 16 日(当社による営業開始日)
就労者数 : 社員 17 名及び臨時雇用者 36 名

(5) 「大分アリストンホテル」の概要

名称 : 大分アリストンホテル (<http://www.ariston.jp/>)
事業内容 : ビジネスホテル(客室数 228 室)、宴会、レストラン
所在地 : 大分県大分市都町 2 丁目 1 番 7 号
営業開始日 : 平成 23 年 4 月 1 日(当社による営業開始日)
就労者数 : 社員 11 名及び臨時雇用者 40 名

(6) 譲渡する事業の業績と連結業績に占める比率

「大分アリストンホテル」の業績(平成 24 年 3 月期実績)(注)1.

	ホテルグラ ンディ宮崎	大分アリス トンホテル	合計 (a)	連結業績 (b)	比率 (a/b)
売上高	348 百万円	479 百万円	827 百万円	3,582 百万円	23.1%
営業利益	0 百万円	△29 百万円	△29 百万円	△458 百万円	—%

(注) ホテル部門の業績には本社部門経費の配賦はしておりません。

(7) ホロニックホテルズ社の概要

商号	ホロニックホテルズ株式会社
本店所在地	兵庫県神戸市東灘区向洋町中 6 丁目 9 番地
事業内容	ホテル経営
資本金	1 百万円
事業年度の末日	3 月 31 日
設立年月日	平成 24 年 2 月 1 日
代表者	代表取締役 長田 一郎(ホロニック社代表取締役社長)
従業員数	21 名
主要事業所	ホテルシーガルてんぼーざん大阪(大阪府大阪市)
主要株主	株式会社ホロニック 100%
当社との関係等	特筆すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。また、当社の関連当事者には該当しません。
直近の財政状況及び業績	直近に新設された会社であり決算実績がないため記載していません。

4. 特別利益の内容

「ホテルグランディ宮崎」及び「大分アリストンホテル」を平成 24 年 7 月 1 日付で事業譲渡することに伴い、営業権及び固定資産の処分益から諸経費を控除した事業譲渡益 95 百万円程度を、平成 25 年 3 月期第 2 四半期に特別利益として計上することを見込んでおります。

5. 今後の見通し

前記 4.の特別利益による影響のほか、本年 7 月以降、新たに株式会社ホテルシステム二十一が当社連結子会社となり、同社が運営する「加古川プラザホテル」の収益が当社連結業績に貢献する見込みです。これらについては、平成 24 年 5 月 15 日付当社「平成 24 年 3 月期決算短信」において公表した平成 25 年 3 月期の連結業績予想に織り込んでおります。

また、本件株式譲渡及び事業譲渡の成立を前提に、当社は、ホロニック社株式を、同社株主からの購入により一部(14.4%)取得することを予定しております。

以上